岩見沢市

人　口　78,112人(2022.1)
主な観光ポイント
いわみざわ公園「バラ園」

未来技術を活用した スマート・アグリシティの実現

スマート農業のさらなる発展

岩見沢市の基幹産業である「農業」では、持続性確保が課題であり、新規就農者の確保はもちろんのこと、作業効率性の向上等による付加価値額向上や市場ニーズを見据えた作付け・生育スケジュールの最適化も重要となっています。

これらの課題解決に向けては、岩見沢市の地域特性であるICT環境に、５GやAI等の未来技術を用いて社会実装された農業作業機の有人走行支援機能を基に、遠隔監視下における無人走行に深化・高度化させ、スマート農業のさらなる展開を図り、営農者人口が減少しても耕作放棄地を出すことなく基幹産業として成長を続ける環境形成を進めていきます。

■プロジェクト

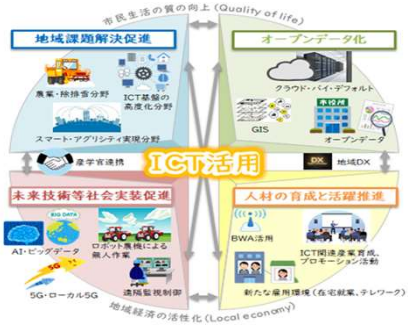
ICT活用型総合戦略推進事業

未来技術等社会実装促進事業、ビッグデータ活用促進事業、産学官連携による課題解決検討など

事業年度・事業費

平成28年度～

35,000千円



ICT活用した総合的な事業展開

〈岩見沢市企画財政部企画室〉
☎0126-35-4834
mail：kikaku@i-hamanasu.jp

猿払村

人　口　2,627人(2022.1)
主な観光ポイント
さるふつ公園、カムイト沼

ＩｏＴを活用し猿払に最適な施設園芸を！

令和２年9月末に完成した施設

令和２年10月からスタートした野菜栽培

猿払村から新たな産業を創造

猿払村では、進学で村を離れた若者が戻らず、移住希望者にも魅力的な就労先の選択肢が少ない状況にあります。

将来的な企業誘致や新規就農者の受入れ増を目的に「新産業創造プロジェクト」を立ち上げ、IoTを活用した施設園芸の猿払モデルの構築に向けたイチゴや葉物野菜の栽培実証事業や、その収穫物を活用して村民の健康増進につなげる「食と健康のプロジェクト」などに取り組んでいます。

■プロジェクト

新産業創造プロジェクト

イチゴや葉物野菜の栽培実証事業／食と健康のプロジェクト　など

事業年度・事業費

令和２～５年度

85,000千円

旧小学校グラウンド跡地を利用

〈猿払村総務課〉
☎01635-2-3131
mail：furusato@vill.sarufutsu.hokkaido.jp

上士幌町

人　口　4,935人(2022.1)
主な観光ポイント
糠平湖、ぬかびら源泉郷

ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進

タブレット配付

デマンド交通　高齢者用UIの開発画面

Society5.0を見据えたまちづくり

上士幌町では、高齢者向けオンデマンドバス予約アプリケーションの開発や既存の物流業者と移動サービスを掛け合わせた仕組みの検討など、ICTを活用したデジタル社会の推進により、地域住民の生活が持続的に向上することを目指しています。

また、町外からの利用者をターゲットに、企業や個人がワークスペースとして使用可能な「かみしほろシェアオフィス」も開設しています。

今後も、IoTやAIを活用したスマート農業・医療・介護・教育や、MaaSでの快適な移動等による生産性の向上を目指す事業、ICTを活用した域内での実証実験を進めていきます。

■プロジェクト

スマートなまちづくりプロジェクト
上士幌型ヒト・モノMaaS導入／情報配信用タブレット導入／自動運転バス導入　など

事業年度・事業費

令和４年度～
158,534千円

かみしほろシェアオフィス

〈上士幌町企画財政課ふるさと納税担当〉
☎01564-2-4290
mail：kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp